

おちこちばし いろかわみなか  
**遠近橋・色川三中関係資料が**  
**市の文化財に指定されました**



▲「遠近橋」



▲「家事志」



▲「色川三中肖像画」

「遠近橋」は、水戸藩士高橋多一郎<sup>たいちろう</sup>が徳川斉昭<sup>なりあき</sup>の無実を明らかにするためにやり取りした書状の集成です。土浦藩士大久保要<sup>かなめ</sup>の書状も複数含まれており、要が斉昭の謹慎解除に尽力していたことが分かります。徳川斉昭と土浦藩主土屋寅直<sup>ともなお</sup>は従兄弟の関係であり、水戸藩の動向は土浦藩の幕末を理解する上で欠かすことができません。「遠近橋」からは、水戸学や水戸藩土の影響を強く受けた土浦藩と土浦藩士、特に寅直の片腕であった要の動向を知ることができ、大変重要な史料といえます。

「色川三中関係資料」は、すでに土浦市指定文化財となっている「色川三中関係文書」に、日記や肖像画などを追加指定し、その名称を「色川三中関係資料」に変更したものです。色川三中は、土浦で薬種の販売と醤油の醸造を営み、国学者としても活躍しました。色川家の日記「家事志」には、日付、天候をはじめ、その日の出来事や来客、年中行事がほぼ毎日綴られており、単に三中個人の軌跡だけでなく、城下町土浦の生活や民衆の様子もうかがい知ることができます。そのため、こうした資料を追加指定することで資料的価値がさらに高まるものといえます。

閩文化課(☎ 826-1111 内線 5120)

第18回

# 土浦新能

9月26日(土)

土浦城址本丸内  
 (雨天時 市民会館大ホール)

鑑賞券／第1部…無料  
 第2部…S席 5000円、A席 3000円  
 販売所／文化課、市民会館、亀城プラザ  
 発売日／7月8日(水) 午前9時から  
 ※亀城プラザの発売は、7月9日(木)から

	演目・演者	時間
第1部	土浦各流合同謡と仕舞の会による 第6回「21世紀を担う土浦能楽大会」	開場 13:00
		上演 13:30~15:30
第2部	能楽座公演 仕舞「桜川」…梅若紀彰ほか 狂言「口真似」…野村万作(人間国宝)ほか 能「田村」…梅若玄祥(人間国宝)、宝生閑(人間国宝)ほか	開場 17:30
		火入れ式 17:50
		上演 18:00~20:10

閩土浦新能倶楽部事務局(文化課内) ☎ 826-1111 内線 5119